

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（島根2号機 設計及び工事計画）【322】
2. 日 時：令和4年11月22日 13時30分～17時00分
3. 場 所：原子力規制庁 9階D会議室（TV会議システムを利用）
4. 出席者（※・・・TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

新基準適合性審査チーム

齋藤安全規制調整官、忠内安全規制調整官、皆川管理官補佐、  
義崎上席安全審査官、津金主任安全審査官、千明主任安全審査官、  
三浦主任安全審査官、服部(正)主任安全審査官、中村主任安全審査官、  
岩崎安全審査官※、谷口技術参与

技術基盤グループ

石田技術研究調査官

事業者：

中国電力株式会社

電源事業本部 担当部長（原子力管理） 他7名

電源事業本部 耐震設計土木グループ 副長 他11名※

電源開発株式会社

原子力事業本部 原子力技術部 安全総括室 担当※

## 5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本ヒアリングについては、事業者から一部対面での開催の希望があったため、「まん延防止等重点措置の解除を踏まえた原子力規制委員会の対応」（令和4年3月23日 第73回原子力規制委員会 配布資料2）を踏まえ、一部対面で実施した。

## 6. 配付資料

なし

時間	自動文字起こし結果
0:00:03	原子力規制庁の皆川です。それではこれから島根 2 号機の設工認のヒアリングを始めたいと思います。それでは事業者から説明をお願いします。
0:00:15	中国電力の内藤です。本日は私営主な説明事項関係の全体に関わる説明工程、補正の対応状況と説明工程、
0:00:28	あとは土建関係を予定しております。
0:00:31	まず資料確認から参ります。
0:00:35	本日は。全部で九つの図書を提出しております。
0:00:40	提出した資料をご説明いたします。まず一番としてN-Sに他 005 階中、
0:00:53	2 番としまして、N-Sに他 073 回 06、
0:01:00	3 番としましてN-Sに他 014 回 07。
0:01:08	4 番としましてN-Sに他 003 回 13、
0:01:15	5 番としましてN-Sに他 067 回中、
0:01:25	6 番としましてN-Sに他 231 回 04。
0:01:31	7 番としましてN-Sに歩 027。
0:01:35	-08 回 08。
0:01:39	8 番としましてN-S2 他 072 回 08。
0:01:45	9 番としまして、N-Sに、方 018-02 回 11、
0:01:51	になります。すべて資料は、11 月 17 日提出済みのものとなります。資料おそろいでしょうか。
0:02:02	はい。
0:02:03	それでは、まず、資料の 1 から、
0:02:07	4 までを用いまして全体に関わる場所をご説明させていただきます。まず資料 1 をお願いいたします。
0:02:15	資料 1 につきましては前回、
0:02:19	それから 3 ページお願いいたします。
0:02:24	16 番のところ、赤字で示しておりますが内容を変更しております。こちらについては後程、どう、
0:02:33	土木の件の方で、関係の方で説明させていただきます。
0:02:37	0 日、2 番の資料をお願いいたします。
0:02:47	補正の対応状況になりますが、
0:02:50	変更点としましては、
0:02:53	3、右肩 3 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:57	前回ヒアリング時にご説明した修正内容になりますが、
0:03:03	480 図書がアノとしておりましたところを 479 年に変更しております。また、第 6 回補正については 48 年から 40 年当初に変更しております。
0:03:16	またこちら、反映できておりませんが、強度計算書、一番下、
0:03:24	共通一番した強度計算書につきましては、
0:03:28	仮設耐震鋼材の強度計算書を含めておりましたがこちらの、
0:03:33	当社としましては基本的、
0:03:36	経産省不要と考えておりますので、
0:03:39	250 に当社にホースを変更しまして、第 7 回補正については図書数を 6 から 5 に変更させていただきます。
0:03:49	また
0:03:51	不要とする考え方につきましては竜巻のヒアリング等でご説明させていただきたいと考えております。
0:03:58	2 番の説明は以上となります。
0:04:02	続きまして③番の資料をお願いいたします。
0:04:15	変更点としましては、
0:04:21	一番右の、
0:04:23	ところ。
0:04:25	の、図書数ですね、備考欄の図書数、耐震計算書のところを記載しておりますがそちら。
0:04:32	赤字で記載しておりますがこちらの図書数が前回ヒアリングより増えております。
0:04:37	ヒアリングの進捗反映したものになります。こちらの図書数につきましては
0:04:42	先日の
0:04:45	記念大使のヒアリングで衛藤田地
0:04:49	計装関係、コメント、
0:04:52	対応済みとなっておりますので、そちらは反映したいと思いますので、会合向け資料としてはこちらからまた、
0:05:00	当初数が増え、
0:05:01	増えることになりまして計装関係多いですので 100 図書程度増えると考えております。
0:05:11	あとは、
0:05:13	等へ進む説明工程の変更点につきましては一番上のところ、
0:05:18	本文関係ですが要目表を、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:21	わかっておりません基本設計方針。
0:05:24	と、
0:05:25	サトウ、
0:05:27	基準適用基準規格等、設置許可との整合については、
0:05:34	1ヶ月程度延ばしております。
0:05:37	また、
0:05:40	溢水防護につきましては1000、前回のヒアリング時に
0:05:47	伸びた理由について、
0:05:50	確認がございましたが、こちらにつきましてはコメント回答もございませ
0:05:55	が、
0:05:57	是正、
0:06:07	設備の溢水評価について、前回のヒアリング時に、説明書を用いてご
0:06:13	説明しておりますので、その説明書を用いて、
0:06:16	ご説明でコメントいただいて、そこに関してはコメントいただいておりませ
0:06:24	んがその後、
0:06:33	先行電力で、
0:06:41	補足説明資料にてSA設備の溢水評価の詳細結果というものをつけて
0:06:44	おりまして、そちらを
0:06:53	当社としてもご提示した方がいいだろうと考えまして、そちらは今準備中
0:06:56	でございまして、それを提示する。
0:07:00	期間を踏まえまして説明期間を延長しているというところになります。
0:07:06	あとは、
0:07:13	耐震計算書、耐震性に関する説明書のうちの、
0:07:16	新野。
0:07:19	3ポツ目の取水槽はですね、こちらは
0:07:21	もともと取水槽については、
0:07:27	1月末となっていたんですが2、3月末まで延長しております。ちょっとこ
0:07:28	ちらは
0:07:31	ちょっとそのように考えていたのですが
	反映できておりませんでした。申し訳ございません。
	あとは、
	4の浸水防施設の耐震性に関する説明書、
	うちの隔離弁。
	機器配管については、
	説明時期につきまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:07:35	12月で予定していたところを、こちら第7回補正で提出したものでご説明となりますので1月に変更させていただいております。
0:07:46	主な変更点は以上となります。
0:07:51	あと、続きまして④の資料、お願いいたします。④の資料につきましては、
0:07:58	主な変更点としてはコメント対応済みのものを反映したというところになります。
0:08:05	都丸さんの資料との整合の観点での変更となります。
0:08:11	③の資料と④の資料につきましては個別図書の詳細スケジュール、検討しているところございましてその内容が一部反映できてないところがございますので
0:08:23	必要により反映したものを介護資料として、
0:08:27	③は介護費用資料としてごせご提示したいと考えております。
0:08:32	当社からの説明は以上となります。
0:08:36	規制庁ミナカワそれでは確認ですけれどもパワーポイント002の所ですかね、②の資料の
0:08:47	3ページなんですけれども、これまで第6回補正までして、
0:08:54	あと第7回補正が予定では残っていて耐震性に関する説明書が31図書で強度に関する説明書が資料上6になってますけれどもこれはアノ5と。
0:09:06	いう説明があったので、このうち、何ていうんすかね。おっきなもの。
0:09:13	まだ少し議論が必要なんだけれども、まだ補正できてないっていうものはどんなものがあるか説明してもらっていいですか。
0:09:25	中国電力の内藤です。第7回補正の主なもの。
0:09:30	としては、主な説明事項でも挙げさせていただいております。棒廃棄のうち、波が46擁壁があると考えております。
0:09:40	その他は、
0:09:44	記念関係の機器等になりますので、そちらの方は、
0:09:48	主な説明事項となっていないものになります。以上です。
0:09:55	規制庁皆川です確認ですけれども、
0:10:00	今後審査会合で、昨年12月にこれは審査会合で議論の必要があつて着、説明をしますと言っていたもので、
0:10:11	まだ補正ができていないもの、第7回補正に回ってるものは、防波壁の内波がイシイ重力様へ。
0:10:18	平気でしたっけ、それのみっていう理解でいいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:23	中国電力の内藤です。その通りでございます。以上です。
0:10:28	皆川ですわかりました。
0:10:32	それと、すいません。
0:10:35	資料の3番ですかねA3の方。
0:10:40	なんですけれども、
0:10:44	先ほど取水取水槽の耐震経産省、
0:10:49	の説明をなんかしたと思うんですけど、
0:10:54	ちょっともう1回説明してもらっていいですか。
0:10:57	中国電力の内藤です。取水槽につきましては、説明期間が1月末までとなっておりました。こちらは3月末までに変更させていただいております。こちらは、
0:11:11	もともと3月末までかかるとしておりましたが
0:11:17	その反映ができていなかったというものになります。以上です。
0:11:25	規制庁ミナカワ生。
0:11:27	と、
0:11:28	もともと、もともと3月末までかかる。
0:11:33	というスケジュールにしていたんだけど、今日は、
0:11:36	1月末までにしてましたってそそういうことですか。
0:11:41	中国電力内藤です。もともとというのはこの時点から野本花梨ということになりますけど当初は本当に当初はその1月末というところでした。
0:11:52	それから
0:11:54	県市審査進捗を踏まえたり、検討していく中である時点で3月末ということ、
0:12:04	で考えておりましたそちらの反映ができていなかったということになります。以上です。
0:12:11	ミナカワz反映ができてなかったっておっしゃってるのは前回の会合時に反映ができてなかったってそういうことですか。
0:12:20	中央電力ナイトウです。
0:12:23	今後、前回のヒアリング時にできてなかったという意味でございます。
0:12:30	次の会合に向けたヒアリングの前回の時に反映をしておくべきだったところできてなかったというところ、以上です。
0:12:41	皆川です。わかりました。だから前回9月1日の会合の時に提示したのはこの青線、青点線ということでもいいんですけど。
0:12:51	中国電力の内藤ですその通りでございます。
0:12:55	犬飼ですわかりました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:58	それとごめんなさいもう1、
0:13:02	1点教えて欲しいのが25番。
0:13:05	斜面安定性に関する説明書、これも期間が大分延びてますけど、前回ヒアリング時にもしかしたら説明受けてるのかもしれないんですけど、ちょっともう1回伸びてる理由説明してもらっていいですか。
0:13:22	はい。中国電力のヨシツグでございますこちらにつきましては、安全対策工事に伴う掘削による斜面の影響というものをこの中にご説明すると。
0:13:33	いうことで期間を延ばさせていただいております。以上でございます。
0:13:40	規制庁ミナカワさんの事実関係はわかりました。はい。私からは以上です他確認等あればお願いします。
0:13:59	規制庁チギラです。すいません1点だけちょっと確認させてください。③の、
0:14:05	資料。
0:14:11	のところで、
0:14:18	強度に関する説明書の防犯駅で、
0:14:23	のところで機能9ってところで線が引かれてるんですけど、
0:14:31	ここ、この中で漂流物対策工の回答がされるってということと理解してよろしいでしょうか。
0:14:52	はい。中国電力のヨシツグでございます。1-5の協力衝突荷重の設定の
0:14:59	続きで対策工もあわせて、ただタイミングといたしまして1-9の防波壁とセットでないと評価があれなので1-9とあわせてご説明を考えております。以上です。
0:15:13	はい。協力対策工の設計方法については小会合のコメントでもあるのでちょっと何か、それがCOCOコードって
0:15:24	何となく読めなくてですね。
0:15:27	いつも気になっているんですけど。
0:15:29	ちょっと何かそれがわかるような形にしておいていただきたいなっていうのと、
0:15:36	あと、今防波壁なんですけど防波扉っていうのは、それんの処理分対策工についてはいかがですかね。
0:15:46	はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:15:51	このタイミングで随時説明をしていくんですけども、今回ここに挙げているアノクロポツで挙げているものを主に

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:58	主な
0:15:59	論点として上がっているものを、のみを少し棒廃棄というような形で特出ししているようなものでございまして4の方の、
0:16:08	資料の方にはその辺りが書いてありますのでここには今ちょっと記載していないというものでございます以上でございます。
0:16:16	はい。
0:16:19	そうすると、
0:16:22	漂流物対策工自体は、でも、会合では説明はされるということで、大丈夫ですか。
0:16:30	はい。中国電力のヨシツグでございます。対策工自体は、会合で、
0:16:37	説明をすることを考えておりまして、
0:16:42	1-9の棒廃棄と
0:16:45	同じタイミングで御説明の方は考えております。以上でございます。はい、わかりました。私からは以上です。
0:16:57	規制庁サイトウサノ細かい、すいません、資料の、
0:17:03	3番、丸さんの
0:17:05	縦表の上の方の、
0:17:08	適用基準、
0:17:10	適用規格、
0:17:12	あと許可整合、
0:17:14	についてはどんどん後ろ倒しになってるんですけどこれは何か、
0:17:19	これまで説明、これまでのタイミングでは説明できなかった何か理由があるんでしょ。
0:17:31	中国電力の内藤です。
0:17:35	許可整合につきましては、基本設計方針が終わってから、
0:17:41	始まるものと考えておりまして、ここ、
0:17:44	考えておりますそれで伸ばしてるっていうところです。その後、
0:17:49	適用基準規格雄御説明を考えておりまして、そちらも、
0:17:54	その影響で伸びているというところになります。
0:17:57	基本設計方針につきましては、1ヶ月程度延ばしておりますが、こちらの、
0:18:05	敷地内土木構造物のご説明を、
0:18:10	考えておりましたが、11月中にヒアリングが設定できなかったというところで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:17	12月にご説明したいと考えております。資料につきましては提出済みです。ですのでまたヒアリング、
0:18:25	ご説明させていただければと考えております。以上です。
0:18:29	規制庁齋藤です。了解しました。
0:18:37	はい他何か確認ありますか。
0:18:41	よろしいですかね。はい。スケジュールについては以上で、この後、
0:18:50	5番の資料ですかね、5番の資料の数、
0:18:56	一旦休憩します。
0:18:59	はい、じゃあ一旦休憩して、そのあとに、5番の資料の説明から再開してください。
0:19:09	録音を開始します。
0:19:15	はい。規制庁チギラです。それではヒアリングの方を再開いたします。
0:19:20	後半は土建関係のヒアリングとなります。それでは、
0:19:26	ヒアリングの進め方等後のため資料の確認の方もお願いいたします。はい。
0:19:33	中国電力の藤村です。それでは土建関係の資料の説明の流れにつきまして、ご説明の方させていただきます。
0:19:41	次回会合でご説明する内容につきましては大きく分けて、防衛防波壁たちゅう鋼管杭式溶液防波壁逆T擁壁、あと、漂流物衝突荷重の三つになります。
0:19:55	某排気多重鋼管杭式溶液につきましては、記載の適正化のみになりますので、説明、説明の方は割愛させていただきたいというふうに考えております。
0:20:06	また、防波壁逆T擁壁につきましては、コメント回答につきまして、補足説明資料とあわせてご説明の方をさせていただきます。その内に漂流物衝突荷重のコメント回答させていただく流れでご説明をさせていただきます。
0:20:21	考えておりますが、そちらの方、いかがでございましょうか。以上です。はい。規制庁日浦です。はい。その説明の流れで、結構ですので説明の方、お願いいたします。
0:20:32	中国電力の藤村です。承知いたしました。それではまず資料の確認の方させていただきます。まず資料1としましてN-Sに他005回、10
0:20:47	資料2としましてN-Sに他073回、06、
0:20:52	資料3としましてN-S2他014回、07、
0:20:58	資料4としましてN-Sに他003回、13。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:21:03	資料 5 としましてN-Sに他 067 回、
0:21:08	10
0:21:09	資料 6 としまして、N-Sに他に 31 回 04。
0:21:14	資料 7 としましてN-S2 他、N-S2 歩 0 に 708 回 08。
0:21:22	資料 8 としましてN-S2 他 072 回 08。
0:21:27	資料 9 としましてN-Sにほぼ 01802 回、11 以上の九つの資料となります。
0:21:36	いずれも 11 月 17 日に提出したものになります。おそろいでしょうか。どうぞ。
0:21:43	はい。規制庁、日浦です。はい。資料の方そろっておりますので、説明の方、お願いいたします。中国電力の藤村です。それでは資料 6 の回答整理表を用いまして、コメント回答の内容について、ご説明の方させていただきます。
0:21:59	それでは本社の方からよろしくお願いいたします。
0:22:05	はい。
0:22:06	中国電力田井です。
0:22:07	それでは資料 6、指摘事項に対する回答整理表を持ち、用いまして、
0:22:12	説明をさせていただきます。
0:22:14	それでは資料 6 の 6 ページをお願いいたします。
0:22:19	コメントNo.20 につきまして説明させていただきます。
0:22:22	こちらのコメントが杭による改良地盤への悪影響の有無についてのコメントとなっております。
0:22:28	またそちらのコメントに合わせまして、次の 7 ページ、ナンバー31 のコメントの、
0:22:34	悔いがない状態の改良地盤についても同様に確認していますのであわせてご説明させていただきます。
0:22:41	それでは資料 7 番補足説明資料の 269 ページをお願いいたします。
0:22:52	こちらは各代表断面につきまして、全時刻における破壊履歴図を図に示しております。
0:22:58	これにより、せん断破壊に達する要素はなく、図中に黄色に示しています。
0:23:03	引張強度に達する要素が限定的であるため、
0:23:06	難透水性の保持に影響するような流入流入経路が形成されておらず、改良地盤の家健全性を確保していることを確認しております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:16	続きまして鋼管杭ありのケースについてです。322 ページをお願いいたします。
0:23:27	図 5.1. 2-2 に示します全時刻における破壊履歴図により、こちらもせん断破壊に達する要素はなく、引っ張り強度に達する要素は局所的であるため、ちゃんと。
0:23:38	避難透水性の保持に影響するような流入経路は形成されていないと考えられます。
0:23:43	それでNo.20 及びNo.31 のコメントに対する回答は以上となります。
0:23:50	清トダテ浦です。今の回答内容について確認する点がある方お願いします。はあ。
0:24:04	規制庁の服部です。
0:24:06	ただいまの説明に対して確認をしました。私からは以上です。では次お願いしますどうぞ。
0:24:17	はい、中国電力の荘司です。それでは、続きまして資料 6 番回答整理表 7 ページの、
0:24:23	ナンバー30 のコメントになります。
0:24:25	5 号断面について実際に設置されるグラウンドアンカ括弧エリア 5 の緒元を用いても、グラウンドアンカーの機能が喪失しないことを説明すること。
0:24:34	といったコメントをいただいております。こちらの回答につきまして、補足説明資料、資料 7 番になります。329 ページお願いいたします。
0:24:46	逆流域の評価対象断面であります 5 号断面のモデル化につきまして、保守性を考慮しまして、次のページ 330 ページにお示してございます。図 5-5.3-1。
0:24:59	はい、癒しになります。5' 断面位置での地質断面図及びアンカー時を用いてモデル化してございます。
0:25:07	グラウンドアンカーにつきましては、逆引き全線にわたって調査位置が概ね同等になるよう設計しておりますが、
0:25:13	照査値が 0.8 以上と厳しくなることから、厳しくなることが想定されるため、
0:25:19	念のため 5' 断面での地質断面図。
0:25:22	5 号断面での何か資料を用いた解析モデルを使用して影響を確認いたします。
0:25:29	次の 331 ページをお願いいたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:34	評価の方針といたしまして今回の検討につきましては、5号断面においてグラウンドアンカーの照査値が最も厳しくなるSs-N湾プラプラの解析ケース③を用いて検討を行います。
0:25:46	次のページ 332 ページをお願いします。
0:25:49	こちらに旧検討に用いますU檀家の仕様、基本ケースと比較してお示ししてございます。表 5.3. 1-1 にお示ししておりますが、
0:25:59	変更する点といたしましてはアンカー退庁を 10 メートルから 7 メートルに変更しております、そのほかに設計アンカー力系アンカー力を、
0:26:08	影響検討で変更しております。
0:26:12	下側に解析ケースをお示しております。
0:26:16	一番表の左側に 4 ポツ評価結果にて評価済みと書いてあるものが基本ケースになりますが、こちらでは地盤、
0:26:24	管状況アンカ使用を 5' 断面でモデル化しておりますが、影響検討におきましてはアンカー仕様 5 号断面に、先ほどご説明した通り変更して検討を行います。
0:26:35	次のページ 333 ページから、335 ページにかけて、評価結果をお示ししてございます。
0:26:43	こちらご覧いただいて、すべての調査項目におきまして照査値 1.0 以下を満たしていることを確認しております。
0:26:52	部材調査におきましては、影響検討の方が、基本ケースよりも若干楽になっております、グラウンドなんかについては、
0:27:00	大きくなっておりますが概ね同等という評価をしております。
0:27:05	336 ページをお願いします。
0:27:08	今回の検討におきましてすべての調査項目において、旧小冊子 1.0 を上回る下回ることを確認しておりますが、
0:27:17	グラン段階については基本ケースの 1. およそ 1.04 倍と大きくなっておりますので、その他の 5 号断面を対象とした影響検討、具体的に申し上げますと、
0:27:28	防波壁前面の施設護岸がなしの場合、
0:27:32	この検討につきましても、同様にグラウンドアンカーの仕様を変更した場合の影響を確認しております。
0:27:38	基本ケースからグラウンドアンカーの照査値が 1.04 倍程度になっておりますので、
0:27:44	施設護岸なしの影響検討の場合のグラウンドアンカーの照査値 0.856 人、1.04 倍して、0.8Kと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:27:54	0.89 程度の照査値になるということを確認しております。こちらにつきましても、照査値 1.0 を下回っておりますので、グラウンドアンカーの機能が損なわないことを確認してございます。
0:28:07	No.30 に対するコメント回答は以上になります。
0:28:11	規制庁の服部です。それでは、ナンバー30 に対して確認する点がある方をお願いします。
0:28:20	よろしいでしょうか。
0:28:21	はい。ではコメント番号No. 30 については了といたします。次お願いします。
0:28:29	はい。中国電力の藤村です。
0:28:32	それでは資料 6 の 7 ページをお願いいたします。
0:28:36	続きまして、ナンバー33 のコメントであります。影響検討ケースの解析断面及び地震動について、選定理由が明確になるように説明することについての回答内容をご説明いたします。
0:28:49	また、その下のNo.34 のコメントにつきましても同一の箇所のご説明となりますので、あわせてご説明の方させていただきます。
0:28:57	資料 7 の 294 ページをお願いいたします。
0:29:07	資料 7 の 294 ページでは貿易前面の施設護岸等の損傷による不確かさの検討における解析ケースについてお示しをしておりますが、内容を分けて記載するようコメントをいただいておりますので、記載を修正してございます。
0:29:24	改正ケース④に用いる地震動及び、地盤物性につきましては、5 号断面の解析ケース①から③において、照査値が最も厳しいことから、 $S_s - N$ ワンプラプラ平均値 $-1\sigma$ といたします。
0:29:39	なお、下の方の表にお示ししております通り、グラウンドアンカーにつきましてはいずれの断面におきましても $S_s - N$ 案プラプラで照査値が最大となっております。
0:29:50	また 5 号断面では、曲げ軸力系の調査におきましても、 $S_s - N$ プラプラで調査値が最大となっておりますことから、地震動の選定は妥当と判断する旨を、
0:30:01	こちらの方に記載を追記してございます。306 ページをお願いいたします。
0:30:11	306 ページでは、海側への変形の状態を踏まえた考察を拡充するよう、コメントをいただいておりますので施設護岸現場の海側への変位が最大、最大となる時刻におけます、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:25	変形図を、306 ページに、また、施設護岸の天端と改良地盤の地表面の水平Aを、次の 307 ページにお示しております。
0:30:36	307 ページの図にお示しております通り、施設護岸天端の海側への変位が最大となる時刻におきまして、施設護岸の天端は、改良地盤地表面に比べて、
0:30:48	海側に大きく変形しております。そのため、改良地盤には施設護岸基礎静止等の自動度圧が作用せず、改良地盤の変形抑制に寄与していないと考えられます。
0:31:01	そのため開解析ケース④のシオタ値が、解析ケース③と比べて厳しくならなかったものと考えております。
0:31:10	308 ページをお願いいたします。
0:31:16	308 ページでは、傾斜の方向性について記載するようコメントをいただいておりますことから、逆T擁壁底盤の傾斜が最大となる時刻における変形図を示しております。
0:31:27	こちらの、
0:31:28	図から、逆に溶液の底盤の傾斜が最大となる時刻におきまして、逆T擁壁及び改良地盤は海側に変形していることがわかります。
0:31:38	また、施設護岸天端は、改良地盤、地表面に比べまして、海側に大きく変形をしておりますことから、改良地盤には、施設護岸基礎捨石等の自動度圧が作用せず、
0:31:50	改良地盤の変形抑制に寄与していないと考えられます。
0:31:53	309 ページをお願いいたします。
0:31:58	逆T擁壁底盤の傾斜最大時刻におきまして、逆T擁壁が右側に変形していることから、310 ページの図から、逆Tウエキ底盤の傾斜最大時刻におけます慣性力の作用方向を確認しております。
0:32:14	基準地震動の加速度を、図の下側の方にお示してございますが、水平方向の加速度は陸側に、慣性力はエミ側に作用しており、これにより厄神駅及び改良地盤は右側に変形しているものと考えられます。
0:32:30	また海側に変形してした場合に、傾斜が最大となる理由としましては、逆T擁壁は改良地盤の中心位置より海側に位置しております、
0:32:40	逆引き溶液の自重及びグラウンドアンカーの初期緊張力が、改良地盤の海側に作用していること、また、当該時刻におきまして、施設護岸の天端は改良地盤の地表面に比べ、海側に大きく変形しておりますので、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:54	改良地盤には施設護岸基礎静止等の自動度圧が作用せず、改良地盤の変形抑制に寄与していないと考えられることが、理由と考えられます。
0:33:04	一方で陸側に変形した場合にグランドアンカーの調査値が最大となる理由を一番下の矢羽根にお示してございますが、
0:33:13	逆T擁壁底盤の傾斜が最大となりますSs-N湾の前村では、最大傾斜時に逆事業駅底盤は鉛直下向きに変位が生じておりまして、
0:33:23	反省アンカー力が減少しております。
0:33:27	一方でグラウンドアンカーの処置が最大となるSs-Nアノプラプラでは、301 ページにお示してあります図の通り傾斜最大時刻と同等の時刻におきまして、
0:33:39	逆Tウエキ底盤は鉛直上向きにしております、陸側に変形した場合に、発生アンカ力が増加し、グランドアンカーの人たちが厳しくなっていると考えられます。
0:33:49	No.33 及びNo.34 のコメント回答としては以上となります。
0:33:55	規制庁のハツリです。はい。ナンバー33、34 について確認をいたしました。
0:34:01	他に確認する点のある方お願いします。
0:34:06	よろしいでしょうか。
0:34:07	それでは、ナンバー3334 については了といたします。では次をお願いします。どうぞ。
0:34:16	はい、中国電力の荘司です。それでは資料 6 番回答整理表 8 ページ、お願いします。
0:34:24	続いてナンバー40、コメントになります。こちらのコメントにつきましては地盤の支持性能からのコメント移動になりまして、内容につきましては前回まででご説明しております改良地盤 08 を用いた検討になります。
0:34:38	前回までご説明させていただいておりますので今回説明割愛させていただきたいと思いますが、結果といたしましては改良地盤 08 を考慮した詳細におきましても、すべて照査、
0:34:50	Gで、1.0 以下であることを確認しております。以上です。
0:34:56	規制庁のハツリですはい。内容についても確認をいたしております。確認ができておりますので、私としては了としたいと思います。他に確認する点がある方おられればお願いします。
0:35:10	よろしいでしょうか。
0:35:11	では、No.3、No.40 については了といたします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:16	次お願いします。
0:35:20	中国電力田井です。
0:35:22	続きまして資料 6、8 ページをお願いいたします。
0:35:26	コメントNo.45 ですが、こちらは、資料 5 のパワーポイントに関するコメントでございます、防波壁の各種構造形式における論点の整理についてご説明させていただき、いただきます。
0:35:37	また、パワーポイントに関して一部適正化している箇所についてもあわせてご説明させていただきます。
0:35:43	それでは資料 5 の、パワーポイント 2 ページをお願いいたします。
0:35:51	こちらに防波壁の各構造形式における主な論点について、昨年 12 月 7 日会合で整理した内容との対応がわかるように記載をしております。
0:36:02	資料の構成上回答させていただく五つの論点を、1-9 の(1)から 1-9 の(3)までの三つのパートに分類しております。
0:36:11	続きまして 37 ページ 38 ページをお願いいたします。
0:36:21	こちらは、審査会合における主な説明事項の説明状況につきましても、整理している内容との対応がわかるように記載をしております。
0:36:31	続きまして適正化箇所についてご説明させていただきます。
0:36:35	戻りましてパワーポイント 19 ページをお願いいたします。
0:36:40	世良は逆T擁壁におけるグラウンドアンカーについて記載しております、こちら、グラウンドアンカーの構成や施工状況及び作用する緊張力の伝達等について、グラウンドアンカーの概要について記載しております。
0:36:54	また、続きまして 20 ページをお願いいたします。
0:36:58	こちらは論点の一つである、木曾停車の傾斜について記載を拡充しております。
0:37:05	続きまして 26 ページをお願いいたします。
0:37:13	こちらグラウンドアンカーのモデル化を踏まえた健全性評価の結果のスライドでございますが、右下にお示ししています章 7 におきまして、設置許可段階の地震時の傾斜と、
0:37:25	詳細設計段階の地震時の傾斜の比較を載せております。
0:37:30	こちらにお示します通り、基礎底面の傾斜が小さくなっていることを確認しております。
0:37:36	パワーポイントの図ご説明は以上となりますまた逆T擁壁に関するコメント回答についても、以上となります。
0:37:45	はい、規制庁チギラです。それでは、今の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:37:51	へー。
0:37:53	コメント。
0:37:55	については
0:37:57	コメントの、
0:38:00	はい。45 番についてはこれはパワーポイントの方にそのような形で整理いただいたということでしたとしたいと思います。
0:38:10	それで、この⑤の資料は、今の説明で、あれ、ほかに説明はないということでしょうか。
0:38:23	中国電力の田井です。はい。主に他に説明する事項はないです。以上です。はい。中国電力のヨシツグでございます。
0:38:33	防波壁に関する逆T擁壁については以上でございます。で、多重交換については特に修正等ありませんので、あと、
0:38:44	この後説明させていただく漂流物につきましてはコメント回答させていただいてその内容がパワーポイントの方にも一部修正させていただいてます。そのときまたご説明させていただきます。以上です。はい、わかりました。
0:38:55	では⑤のパワーポイント資料についてはその漂流物の説明が終わった後に、ちょっとこちらで新たなものがあればですねちょっと確認したいと思いますので、
0:39:06	よろしくお願いします。それでは次の説明をお願いします。
0:39:11	中国電力佐々木ですが、津波への配慮に関する説明書に係る補足説明資料につきましては、二つご指摘をいただいております。
0:39:22	資料番号 8-15 ページをお願いします。
0:39:32	まず一つ目は、10 月 26 日のヒアリングにおけるナンバー119、衝突荷重の算定フローに係る説明において、衝突解析に対してFEMA式を参考とするか、考え方。
0:39:45	及び設計における取り扱いを説明すること。また、FEMA式等衝突解析の荷重比較において、木島式の位置付け及び衝突解析による、
0:39:56	荷重を設定方法を踏まえた、説明を追加することというご指摘になり、こちらのご指摘につきましては、前回 11 月 11 日の
0:40:05	ヒアリングにおいて継続となっております。
0:40:08	二つ目のご指摘につきましては、11 月 11 日のヒアリングにおける、同ページのNo.120 の
0:40:17	FEMA式による衝突荷重と、衝突解析による小衝突荷重について、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:23	その荷重の考え方を明確にした上で、整理して説明することとなります。
0:40:28	これらのご指摘につきましては、漂流物による衝突荷重の補足説明資料にて、あわせてご説明させていただきます。
0:40:37	資料番号というのを、通し番号 36 ページをお願いします。
0:40:52	今、2012 号証戸塚神野線、算定に選定しない理由として、二つポツ目のFEMA2012 に関する記載の下から 6 行目に、
0:41:02	現時点では、FRP製船舶の選手部の複雑な形状及び構造を再現できる軸剛性の設定方法が確立されていないことから、
0:41:14	F、FRP製船舶における衝突荷重の算定方法として選定しない旨を記載しております。
0:41:22	また、FEMA2012 の位置付けとしましては、同箇所の下から 3 行目に、
0:41:28	参考として、既往文献をもとに、船首方向における平均的な軸剛性を用いたFEMA2012 による衝突荷重を算定する旨を追記しております。
0:41:40	続きまして、衝突解析を、衝突荷重の算定方法として選定する理由としましては、3 ポツ目の、
0:41:49	下から 6 行目に、
0:41:51	先行サイトの震災以降の新たな文献である豊田ほか 2022 において、
0:41:57	FRP製船舶を用いた衝突実験が初めて実施され、衝突実験における衝突現象に対して、衝突解析を実施し、
0:42:07	衝突実験による衝突荷重に対する再現性があることが確認されたことから、
0:42:13	船舶の初期配置が直近海域の場合においては、衝突解析を、衝突荷重の算定方法として 3 選定する旨を記載しました。
0:42:23	次のページをお願いします。
0:42:29	図 4 ポツ 5 ポツ 4-1 に、漂流物による衝突荷重の算定方法の選定フローを修正しております。
0:42:38	選定フローとしましては、まず、FRP製船舶を対象として、初期配置が直近海域ではなく、前面海域となる場合は、道路業種褒賞 2002 が選定されます。
0:42:51	初期配置が直近海域の場合においては、衝突解析、またはFEMA 2012 のどちらかとなりますが、FEMA2012 においては、FRP製船舶の受講生が、
0:43:03	適切に設定できないと判断し、設定、選定しないフローとなります。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:09	衝突解析においては、豊田ほかでFRP製船舶の衝突実験が実施され、衝突解析により、
0:43:17	算定した衝突荷重ノダ妥当性が確認されたことから、衝突解析が選定されるというフローに修正しております。
0:43:27	通し番号 115 ページをお願いします。
0:43:45	図 4 ポツ 5 ポツ 6 の 41 の総トン数 19 トン船舶における設計用衝突荷重のまとめにおいて、
0:43:54	前回資料でお示しておりました、参考で算定したFEMA2012 を記載しておりましたが、衝突荷重の特徴を踏まえて、
0:44:04	単純に荷重値を比較できないと判断しまして、記載のほうを削除しております。
0:44:11	通し番号 170 ページをお願いします。
0:44:23	図の 2-1 の衝突状況の表におきまして、
0:44:27	長期の衝突荷重の時刻歴の線の色と、表タイトルの色の整合性を図りまして、より明確になるように修正を行っております。
0:44:37	通し番号 174 ページにおいても同様の修正を行っております。
0:44:44	最後に、181 ページをお願いします。
0:44:56	儀間式衝突実験及び衝突解析による衝突荷重について、その衝突荷重の算定方法の特徴を明記しました。
0:45:07	衝突実験としましては、
0:45:09	豊田ほか 2022 では、総トン数 2tのFRP製船舶を用いた、
0:45:16	衝突実験が実施され、重圧盤に生じた時々刻々変化する衝突状況に応じた衝突荷重が計測されており、
0:45:25	表 3-1 に記載の衝突荷重は瞬間的な荷重ピーク値であることを記載しました。
0:45:34	衝突開始解析におきましては、詳細な調査等に基づいた各船舶の 3 次元FEMモデルを作成して、非線形構造解析を実施し、
0:45:45	時々刻々変化する衝突状況に応じた衝突荷重を算定しており、
0:45:50	表 3-1 及び 3-2 に記載の衝突荷重は、衝突実験と同様に、瞬間的な荷重ピーク値であることを記載しました。
0:46:02	FEMA2012 におきましては、FRP製船舶の先週分の複雑な形状及び構造を再現できる軸剛性の設定方法は、
0:46:14	各確立されていないことから、衝突実験または衝突解析で求めた最大衝突荷重及び最大小戸塚荷重発生時刻に対する選手センターからのセンター破壊長さをもとに設定した。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:30	平均的な軸剛性を用いて衝突荷重を算定しており、
0:46:34	表 3-1 及び 3-2 に記載の衝突荷重は、船首先端から船体破壊長さまでの平均的な衝突荷重であることを記載しました。
0:46:47	また、FEMA式衝突実験及び衝突解析の荷重比較においては、瞬間的な荷重ピークとなる衝突実験及び衝突解析による、
0:46:57	調達荷重を比較すると、衝突解析の値が大きくなり、
0:47:02	FEMA2012 による衝突荷重は平均値となりますので、瞬間的な荷重ピーク値との対照関係を直接比較することは困難であることを記載しました。
0:47:13	指摘ナンバー111、119 及び 120 に対するご説明は以上となります。
0:47:22	はい、規制庁と井浦です。それでは今のコメント回答に対するって確認する点がある方、お願いします。
0:47:46	規制庁の石田です。
0:47:49	内容について確認をいたしました。
0:47:55	書き方のところだけ、
0:47:58	ちょっと気になったところがあるので指摘いたします。
0:48:04	例えば、36 ページ。
0:48:07	先ほどご説明いただいた、
0:48:10	2 歩通目の、
0:48:13	下から 3 行目辺りのところですね、参考として既往文献をもとに船首方向における平均的な軸剛性を用いるっていう、そういう記述があるんですが、その時の
0:48:25	平均的な軸剛性を求めている対象区間をわかるようにしていただけると、
0:48:33	つまり、先週から
0:48:36	要するにSN-SF
0:48:39	で定義した長さですねその区間がわかる。
0:48:43	その区間を対象にした平均の軸剛性であるということをわかるような記述にしていただけると、
0:48:51	よりわかりやすいかと思いますがいかがでしょうか。
0:48:57	はい。よく連絡、どうぞ。
0:49:02	中国電力の笹木です。ご指摘ありがとうございます。
0:49:06	こちら今回NSFにおきましては衝突解析で発生しております衝突解析と実験で発生しております、最大衝突荷重発生時の長さになっておりますので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:49:20	その辺もわかるように記載の方、修正させていただきたいと思います。以上です。
0:49:27	規制庁の石田です。
0:49:29	そのこのところですね実は平均的な軸剛性を求めているという記載がですね、まとめ資料の中数ヶ所出て参りますので、
0:49:40	180 ページ、180 ページ 181 ページですか、最後のところには明確にそこら辺の対処区間を記述いただいているんですけども、他のところでそういうのがないところが散見されますので、あわせて、
0:49:55	見直しいただけると助かります。
0:49:58	私からは以上です。
0:50:05	中国電力の佐々木です。了解しました。
0:50:10	規制庁の服部です。私から 1 点。
0:50:15	これ記載だけだと思んですが、
0:50:18	181 ページをお願いします。
0:50:23	この最後の異常よりの結論なんですけれども、
0:50:26	瞬間的な最大ピーク値の大小関係を直接比較することが、
0:50:35	困難であるという記載なんですけれども確かに困難。
0:50:39	という考え
0:50:41	記載もできると思うんですけど。
0:50:44	こんなんというよりも、適切
0:50:55	ではない。
0:50:58	と判断したということなのかなあ。
0:51:01	というようにも感じるんですね。
0:51:03	で、ちょっと
0:51:05	パワーポイントの方見ていただきたいんですけどここはですねちょっとここはちょっと記載を直していただきたいなどは思ってますけれども、
0:51:14	この 180、補足説明資料のは、181 ページは、ずっと説明があった上で最後に結論が書いてあるんですけども、このパワーポイントの方は、結論だけしか書いてないので、
0:51:27	少し誤解を招くかなという記載があるということで、
0:51:38	パワーポイントの 36 ページをお願いします。
0:51:45	これ、下表より、
0:51:49	反困難であると判断した。
0:51:52	というような記載になってるんですけども、
0:51:55	この下表、表 6 と表 7 からは、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:51:59	困難であることは多分判断できないのかな。
0:52:03	と思っています。
0:52:05	なので、例えばここはですね、
0:52:12	例えば瞬間的なピーク値の大小関係を直接比較することは適切ではない。
0:52:19	けれども、
0:52:21	比較すると、このような関係になりました。
0:52:26	というような
0:52:27	ことなのかなあとって、
0:52:30	いるんですね。だから、
0:52:31	そすそれもあって最後、困難である適切であるって変えた方がいいのかなあ。あそこはこんなんでもいいのかというの少し迷うところであり ますけれども、
0:52:44	特にこの 36 ページのところは、
0:52:46	下表から困難であると判断多分できないので、
0:52:50	ここの記載は少し
0:52:54	適正化をいただきたいと思うんですがいかがですかどうぞ。
0:52:59	はい。中国電力ヨシツグです。
0:53:04	あと、
0:53:04	パワーポイントの 36 の方は、おっしゃる通り下表からではなくて、上述 に書いてあります荷重の
0:53:12	出てきている、成り立ちといいますか性質といいますかそういったものが、直接比較する ようなものが適切でないという趣旨だと理解しておりますので、
0:53:23	ちょっとここ、181 ページの補足説明資料も含めてですね、
0:53:30	衛藤、そういった表現に見直しをさせていただけたらと思いますが本社 側何かあればお願いいたします。
0:53:42	中国電力笹木です本社側から、特にございません。
0:53:47	規制庁の服部ですはい。わかりました。
0:53:51	こんなんと適切な使い方ですけど、
0:53:55	私は適切なほうがいいのかというと思って少し私の個人的な意見を 述べさせていただきましたが審査官としての意見を述べさせていただきましたが、
0:54:07	他に
0:54:09	何か、この件に関して確認する点がある方おられればお願いします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:18	規制庁の三浦です。今回いろいろとコメントについてそれに対して修正をしていただいて、
0:54:27	私は少し言い回しのところはあるかもしれませんがでもこれで十分ではないかと思っています。
0:54:33	あとす。今服部が言っていましたように、こんなんでなくやっぱり適切なんでしょうね言葉遣いとしてはですね、それを含めて修正をお願いできればと思います。
0:54:44	あとついでに言うておきますが 35 ページの一番最後の部分もですね、
0:54:49	最大衝突荷重は出荷場落下術置き換え間先週傾斜後の長さを、
0:54:57	先週、先般から受け市場盤までの長さ、これ括弧幾つ。
0:55:03	を用いて平均剛性を算出したとかね。
0:55:07	いうことを記載しておいた方がいいんじゃないかなというふうに思いました。
0:55:12	どうでしょうか。
0:55:19	中国電力の笹木です。承知しました修正の方させていただきたいと思います。以上です。
0:55:26	はい。私から以上です。
0:55:32	はい、規制庁、日浦です。
0:55:35	それでは先ほどの資料⑧のところの、コメントの 110920、
0:55:44	については、
0:55:45	衛藤。
0:55:46	関連するって確認する点。
0:55:49	よろしいですか。はい。こちらについては、先ほどの規制の話はありますけどそこ、適切に適正化していただいて、このこちらのコメントについては了としたいと思います。
0:56:01	続けて、他に説明する点があればお願いします。
0:56:07	はい。中国電力の笹木です。続きまして資料番号①の 3 ページをお願いします。
0:56:20	9 月 1 日のすいません、中国電力ヨシツグです。どの資料をご説明されようかとされているか。
0:56:29	回答整理表の主な説明事項でしょうか。
0:56:34	はい。資料番号 1 の
0:56:38	回答整理表の主な説明事項になります。
0:56:54	すいませんヨシツグです。
0:56:56	一番の資料の何ページでしょうか。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:01	資料番号①の 3 ページをお願いします。
0:57:09	はい。お願いいたします。
0:57:12	はい。中国電力の笹木ですご説明の方、続けさせていただきます。
0:57:17	9 月 1 日の指摘事項としまして、No.16 の衝突実験に用いられた総トン数 2t船舶について、土木学会式に基づいて算出される。
0:57:29	軸剛性を用いたFEMA2012 式による衝突荷重を算出して、
0:57:35	実験結果との比較を行い、総トン数 19t船舶におけるFEMA2012 式の結果と、衝突解析結果との関係を整理して説明することというご指摘をいただいております。
0:57:50	こちらにおきましては、資料番号⑤の 27 ページから、漂流物衝突荷重の設定に関する資料となっております。
0:58:05	資料番号⑤の 29 ページをお願いします。
0:58:21	こちら、先ほどご説明させていただいた内容に準じて資料の方の記載をて、修正を行っております。
0:58:31	続きまして 33 ページをお願いします。
0:58:44	こちらにおきましても、本日もご説明いただき、させていただきました内容に準じて、選定フロー等、
0:58:52	修繕の方を行っております。
0:58:56	最後に 36 ページをお願いします。
0:59:05	こちらの方も先ほどいろいろご指摘のいただきましたんで修正の方を行いたいと思っておりますが、本日のご説明内容に準じて資料の方を修正しております。
0:59:16	以上でご説明の方。
0:59:18	終わります。
0:59:20	はい。規制庁吉良です。こちらの指摘については、指摘を踏まえて資料を修正されたということで
0:59:30	そういうことで理解をしました。
0:59:36	の中で説明していただいでですねそれでそちらについては判断したいと思しますので、よろしく申し上げます。それでは、他に説明する点がある方、他の、次の説明をお願いします。
0:59:51	中国電力の藤村です。殊、順番が前後してしまい申し訳ございませんが、引き続きまして、資料、
1:00:00	6 の適正化箇所につきまして、主な修正点に絞ってご説明の方をさせていただきたいと考えております。
1:00:07	資料 6 の 10 ページを、11 ページをお願いいたします。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:00:19	資料 11 ページのナンバー104 の適正化内容についてご説明の方させていただきます。また、ナンバー105 の適正化につきましても同一箇所の内容になりますので、あわせてご説明の方させていただきます。
1:00:33	資料 7 の 179 ページをお願いいたします。
1:00:46	資料 7 の 179 ページでございますが、
1:00:50	179 ページからは、耐震評価結果の方を示してございますが、このたび 44 断面の解析結果の方を追加してございます。
1:01:00	いずれの調査地も評価基準値を満足しており、44 断面の結果が、概ね 5 号断面の結果を下回る結果となっております。
1:01:09	また 11 断面と 5 段目につきまして曲げ軸力系統せん断に対する照査維持を部材単に変更したことに伴いまして、曲げ軸力系とせん断の照査値、
1:01:20	またばらつきの実施ケースを修正してございますが、いずれも許容限界を下回ることを確認しております。適正化内容のご説明につきましては以上となります。
1:01:33	はい、規制庁規律適正化。
1:01:36	今の説明に対して確認する点。
1:01:40	よろしいですかね。はい、わかりました。
1:01:43	それでは、衛藤ほかに説明すること。
1:01:47	項目ありますでしょうか。
1:01:54	はい。中国電力ヨシツグでございます。今回のこのヒアリングでの説明は以上でございます。
1:02:02	はい、わかりました。
1:02:04	それでは、全体通してですねちょっと
1:02:08	確認をしていきたいというふうに思います⑤の資料とかですね⑦の資料、また⑨の資料ですね。
1:02:17	今説明していただいた内容に対して、確認する点ある方お願いします。
1:02:34	はい、規制庁の谷口です。
1:02:36	⑤の資料、
1:02:40	2 次って、
1:02:43	20、
1:02:46	3 ページ目のところ、
1:02:56	ここについて、
1:03:00	グラウンドアウターの東部に導入した初期緊張力が、
1:03:05	基本的に戦Bの

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:07	定着時にはどうなっているのかってことについては、具体的に、補足資料等で説明をしていただくことは可能でしょうか。
1:03:19	基本的な自由長及び高速調部の緊張力の分布がきく、職域上部が入れた特性の定着した後、
1:03:28	どういう緊張力になってるのかって、やっぱこの資料の中では詳しくは説明する必要ないと思いますけど、
1:03:34	補足か何か今まで補足の資料の中では特に記載はされてないので、
1:03:40	この緊張力の分布についてどこかで補足で説明して、
1:03:47	記載していただくと可能でしょうか。
1:03:55	中国電力の藤村です。承知いたしました。おっしゃっていただいた内容ですね、色緊張力の内容につきまして補足説明資料の方にも反映したいと考えております。
1:04:06	はいそうですよろしく願います。それで、あと 25 ページ目のところに、表のようなところで、例えばグラウンドアンカーが最大値が、照査値が 0.859 になってるということも、
1:04:19	結局、その最大値、最大になったところの緊張力は幾つで、この 0.849 になったんだっていうのが、結果としてこれ記載されてるんだと思いますので、
1:04:30	その辺を、補足資料で説明をしておいてください。この資料の中では、⑤では特に書く必要ないかもしれませんが、その辺、
1:04:40	根拠になるものを記載しておいてください。よろしく願います。
1:04:45	中国電力の藤間です。承知いたしました。補足説明資料の方に記載をさせていただきたいと思います。以上です。よろしく願います。
1:05:00	規制庁のハツリです。
1:05:02	⑦の、
1:05:04	資料願います。
1:05:15	規制庁のハツリです⑦の資料の、
1:05:19	263 ページを願います。
1:05:33	263 ページの表 4.3-16 に、地震時の傾斜の算定結果の比較が示されていますけれども、
1:05:43	これ①①断面については、
1:05:46	許可時の傾斜から、
1:05:49	今回かなり改善された。
1:05:52	というふうに認識をしています。
1:05:55	この改善の主な要因ですけれども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:06:00	これはほとんどグラウンドアンカーの効果によるものと考えてもよろしいでしょうか。
1:06:06	というのですね。
1:06:08	④断面⑤断面については許可人に評価をしてないので、比較はできないんですけれども、
1:06:16	もしグラウンドアンカーによる効果の影響がほとんどであるとすれば、④、⑤についても、これも許可時の解析方法からは改善されているという判断ができる。
1:06:31	というふうに考えていますので、
1:06:33	その点について少し確認をさせていただきどうぞ。はい中国電力の鹿島です。今おっしゃられた点ですね①断面同士で比べますと、今日梶野446分の1が1262分の1ともかなり大きく改善されている。
1:06:49	今回の結果、確認できたんですが、おっしゃるように一つの要因は、グラウンドアンカーをモデル化することによってですね、確実に変形抑制は、寄与しているということはいえると思います。
1:07:00	あともう一つ、改良地盤の物性がですね、こちら既許可の時と変わってるところもございませぬ、幾分か寄与してまして、この程度、何割ぐらいがっていうところはちょっと定量的に申し上げることはできませんけれども、
1:07:15	今申し上げた二つの点は今までですね、改良関係者のところは大きく改善されておりますので、その他の4番目5番目こちららも設置許可時には解析はしてございませんが、
1:07:27	概ね同程度ですね改善がされたんではないかというふうに考えております。以上です。
1:07:34	規制庁のハツリですはい。確認しました。私から以上です。
1:07:52	はい。規制庁の仲村です。まずですねパワポの資料なので、
1:07:59	紙資料、本校の、
1:08:03	19ページですね。
1:08:06	これは多分、
1:08:08	そんな大きな話ではないですけども、
1:08:12	19ページに今、右側ですね、図3っていうのがあって、
1:08:19	グラウンドアンカーの緊張カイメージってあるんですけど、これ、図のところ見るとこう埋戻度があって、これ、改良地盤が書かれてないんですけどこれ何か意図してつけてないとかっていうわけですから、
1:08:34	ちょっと教えてもらえませんか。すいません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:37	はい。中国電力の荘司です。こちらの 19 ページにおきましては逆駅に設置されたグラウンドアンカーの概要というよりは一般的なグラウンドアンカーの説明ということで、お付けしたページでございますので、
1:08:49	改良地盤は、図に記載してございません。以上です。
1:08:55	はい。
1:08:57	はい。規制庁の仲村です。
1:09:00	一般的なところのページだったからそうかなとは思ったんですけども、逆Tの絵があって、おんなじ絵を使ってるってこと考えると、変な誤解を受けないためには、
1:09:13	別にこだわるところじゃないんですけど、23 ページとか、同じような絵があったりするわけですから、
1:09:20	そこ、改良地盤って書いてもらってる方がいいんじゃないかなという感想というかですね。
1:09:26	はい。中国電力の鹿島です。申し訳ございません。おっしゃられる通りもともと一般的な概念図ということでお付けしたんですが、写真自体もですね、逆T容積の溶液の施工図を付けたりということで、
1:09:39	ミスリードする要因にもなりますので、こちらを割り切って改良地盤のですね、断面図を付けた方が、誤解がないのかなと思い直しましたので、修正させていただきますすいませんでした。はい。よろしく。
1:09:52	規制庁仲村ですよろしく申し上げます。ちょっと続けてですけども、
1:09:58	資料、
1:10:00	7 の方の、
1:10:03	これも大した話じゃまずないんですけども 7 ページですかね。
1:10:09	資料 7 の、
1:10:14	7 ページですね、ちょっと細かいところなんですけども、す、図があって、下の方の 2 断面ですね。で、右の方端っこの方見ていくと、
1:10:26	斜面があるんですけど、埋戻度とおんなじハッチングになってるんですけど、
1:10:32	これは何かこう、
1:10:34	誤植というか、
1:10:35	間違いなのかそれとも、
1:10:40	埋め戻し度で、
1:10:42	モリとか何かになってるとか、そういうわけですかね。
1:10:48	中国電力の藤村です。こちら 2 断面の斜面部ですけれども一部表層の部分が梅本Cになっておりますので、こちら地質断面図が正しくて、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:11:00	メモの指導になっております。こちら、
1:11:03	こちら側の保管アクセスの審査資料の方で、33メートル盤の斜面になっておりまして、
1:11:11	平面図でオチご説明しますと、
1:11:15	4ページの方になりますが、
1:11:20	この図の1-8-2-1。
1:11:24	の図の真ん中の3号炉の少し南側になるんですけども、この北東に向いている斜面、
1:11:33	こちら側の一部埋め戻しモリド斜面になってございます。
1:11:38	以上です。
1:11:40	はい。規制庁仲村です。わかりました。それが間違っていないというのは理解しました。続けてですけども、例えばですけどこの資料7の36ページとかですかね、で、
1:11:54	これ前回のヒアリングの時にですね規制庁の方からコメントしてると思うんですけども、
1:12:01	今ここ例えば36ページでいくと、
1:12:06	40巻の構造図とかが示されてるんですけども、前回の時にその30間についても、構造図とか、どこの場所に配置されてるんだっていうのをこう、
1:12:17	説明していただきたいって言ってたのがあったんですけど。
1:12:21	ただ、これは、
1:12:25	修正、未修正ってということでしょうか。ちょっと教えてもらいます。はい。中国電力ヨシツグでございます。はい。こちらにつきましては、申し訳ございませんまだ未修正でございます今度
1:12:37	多重効果の耐震性を説明する、またヒアリングの中では修正したものを、
1:12:43	またつけさしていただきたいと思っております。以上でございます。はい。規制庁仲村です。修正については、してもらったらいと思うんですけどちょっとその前に、もし可能であれば、
1:12:54	ざっくりでもいいですから、30間ってどういうものかっていう、例えば図1-2を使ったりとか、あとどの辺の範囲に、
1:13:04	使われてるかっていうのを口頭でもいいんでちょっと説明していただけますか。
1:13:08	はい。中国電力のヨシツグでございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:13:12	36 ページ、失礼いたしました。7 の資料の 36 ページでございますけれども、これの外側の間、φ2200 がない状態のものが 30 巻と呼んでおります。
1:13:25	こういった構造のものは、特異長が長く、短い。
1:13:31	場合で、
1:13:33	水はそこまで剛性がいらないうつたときに 40 間から 30 間に返しておりますので、この絵で言いますよりももう少し浅いところでこういった 3 時間を使っているところがあります。
1:13:45	衛藤。
1:13:47	範囲につきましては、
1:13:50	もう少しご説明しづらいんですけども、同じ資料の、
1:13:55	4 ページに、
1:13:58	これ逆 T 擁壁の平面配置図なんですけれどもこれで少しご説明をさせていただきますと、
1:14:05	多重鋼管杭式擁壁と逆 T 擁壁という赤色と黒い色の境界辺り、この辺りが岩盤が浅くなってきているところでございまして、こういったところに、
1:14:17	一部三重管といったようなものを使っております。
1:14:21	同じくもう少し浅いが浅いところも確か東側の方にもあったと思いますんでそういったところも、
1:14:28	一部、使用していたと思います。それと前回、ヒアリング多重効果のヒアリングでご説明させていただきました
1:14:36	スパンが飛んでいる取水槽の背面側の杭、こちらの方も三重管を使用させていただいております。ちょっと場所がわかるように、改めてご説明をさせていただけたらと思います。以上です。
1:14:53	はい、規制庁の仲村ですけども、なぜですね 3 時間などいうところに配置されてるのかっていうのをちょっと確認したっていうのがですね。
1:15:03	今この資料とかでいくと、
1:15:06	多重交換の契約限界の妥当性検討とかっていうのはすべて 40 間で検討とかされてるわけですよ。
1:15:15	そういうところで、
1:15:17	普通で、長さとか、いろんな条件が違ってるんで、一概にこうして一アノ比較するっていうのは難しいかもしれないんですけども、やっぱりその
1:15:29	まあ、普通で考えれば 40 と 30 って考える、合成とかそういうところって 40 の方が強いだろうなって、単純に思うところで、妥当性の検討。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:40	30 間はしないで 40 間で検討している。それで大丈夫だっていうところは、今、中国電力さんとしてはどういうふうにお考えですか。
1:15:50	はい。中国電力のヨシツグでございます。ちょっと今回の資料にはないんですけどもまず 30 巻のところの中間のところの断面選定を、
1:15:59	行っております。考え断面設定する時にどういったところかっていうので、30 巻のところ 4 時間のところあと杭の長さ、
1:16:09	あと、岩盤への 20 周りの土の状況、そういったもので断面の位置を決めておるんですけども、その中で、
1:16:18	30 巻のところと 40 巻のところについて、比較検討をして、4 時間の方が、より衛藤断面として、
1:16:29	厳しいところを選んでいると、そういった資料を、今後また一度説明はさせていただいたんですけど、追加のコメントがつきまして今準備しているところでございます。そういった中で、
1:16:40	今選んでいる 40 巻のところのご説明というのをまた改めてさせていただけたらと思っております。以上です。
1:16:48	はい。規制庁の仲村です。すぐというわけで、ないんですけどその他中間の説明の今後の時ですね、には、やっぱりちょっとその、
1:16:59	定量的なことがいえるのか定性的な表現なのかちょっとわからないですけども、やっぱりそこ、そこについては、
1:17:08	どういう評価をして、今検討してるかっていうところはちょっと説明していただきたいと思っておりますので、
1:17:16	その点については、いかがでしょうか。はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:17:24	40 巻のところは 40 巻なりの剛性と強度、降伏モーメントに 30 巻のところは 3 時間の剛性、それと 30 巻にみあった降伏
1:17:34	モーメントを使用しておりますので、教育委員会としては、より、
1:17:39	イトウ、
1:17:41	それぞれにみあったもので評価をしております。決して 40 巻のもので 3 時間のところも評価をしているわけではございませんので、そういったところもわかるように、今後ご説明をさせていただきたいと思っております。今回
1:17:55	お示ししている実験の結果、
1:17:57	40 巻で試験をやったんですけども、1 回共同しているというところは確認できておりますので、30 巻でも説明は可能だと思っております。以上でございます。
1:18:08	はい。規制庁仲村ですけど、ちょっと再確認ですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:18:12	今 40 巻とかでこういう資料とか作られてますけども、今後、数 40 カウン ト 40 カガワ 40 間で 30 緩和 30 間で説明していただけるっていう、
1:18:24	ことでよろしいんですね。
1:18:28	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:18:31	30 館、
1:18:32	の概略の検討を行いまして、40 カーンを選んで、詳細な検討をせ説明 できると思っておりますので、そのの、
1:18:42	比較をまずさしていただきたいと思っております。以上でございます。はい、 わかりました。それはまた説明の方、よろしく申し上げます。
1:18:52	あと、すいません、これ最後 1 点なんですけど、これはちょっと参考に、
1:18:58	ていうか、どのように考えているかっていうところを教えてくださいなんです けども。
1:19:03	例えばですけど、資料で言うと 170 ページ。
1:19:11	グラウンドアンカーの方、
1:19:14	許容限界のところ書かれててこの資料で言うと許容限界っていうのは 設計施工基準を使って、
1:19:24	許容引張力とか拘束力引抜き力、こういうものを設定したっていうふうに 書かれてて、基本的にはその考えで、全然問題ないかなとは思ってま すんで、
1:19:37	ただ一般的にそのグラウンドアンカーの設計って考えたときにこれって どっちかって、地すべりとか、そういうものが基本で考えられてると思 うんですけど、そういうところで今、
1:19:48	島根の逆Tのところっていうのでいくと、
1:19:53	上に、
1:19:54	100tの構造物があってそれがJIS、当然、鉛直方向の、
1:20:00	地震力っていうのもあると思うんですけども、その水平の地震力がかか ったようなときに、
1:20:07	今の
1:20:08	引き抜き、共用の引張力、拘束力、要するに横の水、水平の力が、グラ ウンドアンカーのその点だとかにかかったときに、
1:20:21	この引張力とか、
1:20:23	そういう引抜き力とかそういうのだけで、鉛直方向の、
1:20:27	確認だけで、
1:20:29	いいのかわかっていうところとあっていうのを、中国電力さんって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:20:35	何か考えられたりしてるかなっていうところでちょっと参考に教えてもらいたいっていうところなんですけど。
1:20:43	はい。中国電力の柏です。すみません
1:20:48	上手くちょっと答えがあるんですけど、考え方としましては今、FEMの中でですね、このアンカー一点のものを、9 イトウとアノセンターとですね、
1:20:59	シャツの部分もモデル化して、その中で、変形というのを許容したモデル解析をしておりますので当然、鉛直水平同時加振の入力として詳細でございますので、
1:21:11	その伸び量というのもですね、水平地震力に対する影響というのも加味されたものとして、この評価の中に取り込まれているというふうに考えております。
1:21:21	以上です。
1:21:26	この説明についてはわかりましたので、ごめんなさい前場が逆の方がよかったですんですけど、何でちょっとそういうことを聞いたかっていうと、起こるような現象というのを頭で想像してみたときに、
1:21:41	多分、
1:21:42	もし横野、その地震力が働いたときに、逆Tが講ずれようとするような力が働いてで、
1:21:50	ちょっと言葉はよくないかもしれないですけど、せん断的な力が働いてとか、そういうようなことが起こるのかなと実際の事象としてですね。
1:22:02	そうした時に、
1:22:04	そういったことを考えられてるかなということで参考に聞いたんですけど。はい。中国電力和智カシマです。すみません今おっしゃられた
1:22:15	躯体自体の水平の地震力が作用することによって、横、横方向の荷重がかかったときのことを考えるかというふうに認識認識しておりますが、
1:22:25	今回の資料にもおつけしておりますように、活動の調査というのをさしていただいていますんで、この活動の時には、アンカーの緊張力縦方向の締め付け力っていうのを、
1:22:37	後続Σとヒグマの増分として見たもので、せん断抵抗にも加味したものとしてですね、岩盤と躯体の間のせん断抵抗、そこにはアノシミズ家の増分というのも考慮されておりますのでそれをもって、
1:22:50	活動しない、十分な安全率があるということはですね、そういった水平の外力に対してもですね、安定性が確保されているというふうに解釈できると考えております。以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:23:01	はい。規制庁仲村です。すいません長く要するに、動かないってところでそう大丈夫という判断をされてるってことだと認識しましたんで、ありがとうございました。
1:23:48	はい。議長チギラです。他に何か資料全体としては、お願いします。
1:23:57	規制庁の服部です先ほどの傾斜アノ話で、グラウンドアンカーの効果と、地盤改良体の強度の効果があると聞いたんです。
1:24:06	という話説明があったんですけど、あれ。
1:24:08	一番下状態の強度というのは違うんですか。もう一度お願いします。中国電力の柏です。すいませんちょっと説明が言葉足らずで申し訳ありませんでした。今回、荒田設置許可からですね改めて、
1:24:22	グラウンドアンカーをモデル化することと、改良地盤の物性につきましては、室内配合試験を実施しております、室内配合試験の結果を踏まえた語弊を、
1:24:34	設定してございますので、それが一つ前回と前回というか、既許可のときからのですね、解析の物性が違うところは寄与してるんじゃないかなと思います今回の方が硬めの評価になっておりますので、
1:24:46	それプラス、アンカーの拘束力であいまって、経営者がですね、随分違う日は小さくより現実的なものだと思っておりますけど、評価になったというふうに考えております。以上です。
1:24:58	規制庁のハツリですはいわかりました。ちょっと強度という表現が間違ってたんですね剛性が。
1:25:04	剛性が変わってるということなんですよ。ちょっと聞きたかったのは、許可から結局、今回品配合試験やって剛性が上がっているんですかっていうのを確認したかったんですけど、それは上がっているということで今、
1:25:17	回答いただいたんですが、よろしいですか。はい。中国電力橋場です。今羽鳥さんおっしゃられた認識の通りでございます。以上です。規制庁の服部ですはい。わかりました。以上です。
1:25:31	はい。次ちょっと他に何かありますか。
1:25:33	すいませんちょっと私から、今の関連で、その改良地盤のところっていうのは、試験施工というか配合試験でやって決めました。今、施工終わった後の試験っていうのはこれはまた
1:25:48	説明があるということでよろしく願い。はい。中国電力の加島です。以前、審査会合のときにも同じかの問い合わせいただいております今

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	後、こういう施工の進捗に合わせてですね審査会合の中でですね、結果についても、
1:26:01	ご報告させていただきたいと思っております。以上です。はい、わかりました。
1:26:07	それでは私の方からちょっと資料⑤について、少し確認させて、記載だけなんですけど4点ほど確認させてください。
1:26:19	と、④、⑤の資料の2ページなんですけど、
1:26:25	今回経緯というかですね論点を示していただいてその図の1なんですけど、これは以前から何回か言ったんですけど、
1:26:34	防波壁それぞれのタイプで延長をですね入れていただいていたと思うので、ちょっと延長を情報としていただいていたかということをお願いいたします。はい。中国電力藤村です承知いたしました。
1:26:49	はい。よろしく申し上げます。すいません。2点目が7ページなんですけど、これはちょっと念のための確認なんですけど、
1:26:59	実験と今降伏
1:27:03	モーメントと降伏荷重の関係で部長が出てくるんですけど、
1:27:07	実験体の部長っていうのはこれは試験装置の関係で2800ということを決めているっていう、お話を以前聞いたかなと思っております。それと、
1:27:20	解析の本部長っていうのはこれは今実験体等のスケールとの関係から、およそ4倍っていうことって、
1:27:30	この後入れてると、
1:27:34	そういう理解でよろしいですか。
1:27:42	はい。中国電力のヨシツグでございます。
1:27:45	まず実験のやつは、8ページに、ちょっと見にくいですがけれども
1:27:49	得意と1人のところの、
1:27:52	土佐に数字を書かさせていただいております。解析上はそこから出てきているものを、概ね4倍、
1:28:02	スケールアップしたもので、計算して出している。
1:28:06	ありがとうございます、
1:28:08	衛藤。
1:28:09	若干数字が違うのは
1:28:11	衛藤。
1:28:13	大井。
1:28:14	確かあの累計で調整をしてるんですけども若干そのもので、ぴったし4倍になってないというところが

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:28:21	ちょっと端数が出ているところの理由でございます以上です。はい、わかりました。ありがとうございます。
1:28:28	あと3点目ですけど、これは15ページですけど、
1:28:33	ちょっと最初、
1:28:35	置いた話じゃないんですけど、
1:28:40	ここでは
1:28:44	ピット部の陸力学挙動を補強実験の結果とですね、解析で確認をしているんですけど、
1:28:53	今、四つ目の矢羽根でせ、3次元静的FEMで再現解析して、妥当であるってことを確認したってあるんですけど、まとめ資料の方ではですねこの再現解析の結果として、荷重変位関係とか、
1:29:08	載っているんですけど、
1:29:11	ちょっと
1:29:12	ここにはないので、紙面の都合上入れられるのであれば入れていただくか、厳しければですねちょっと補足のほうに飛ばすとかですね。
1:29:23	そういったことでここで3次元静的ゲームで確認をしていると。
1:29:28	いうことが出ずその裏付けがですね、使われるようにしていただきたいんですけど、いかがでしょうか。
1:29:35	はい。中国電力田井です。越して聞いていただいた通りですね、文章だけの記載となっておりますので、図の挿入やまた補足説明資料への引用等を用いまして、
1:29:45	3次元静的FEM解析人の確認能ですね、詳細がわかるようにしたいと思っております以上です。はい。よろしく願います。最後ですけど25ページ。
1:29:58	表の4なんですけど、
1:30:00	この調査機の最大値っていうのが書かれていて、これは多分審査に関わっている人は、これでわかると思うんですけど、下にグループ系とかでせん断とかっていうのが、何の照査値なのかとかですね、ちょっとその辺の運用がわかるような、
1:30:18	形にいただいた方がいいかなと思いますのでちょっとその辺工夫をしていただきたいと思うんですけど、よろしいでしょうか。
1:30:26	はい。中国電力の荘司です。ご指摘の通り二次元動解の結果が、ちょっと何を示しているのかわかりにくい記載になっておりますので、適正化したいと思います。以上です。
1:30:38	はい。よろしく願います。私からは以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:30:42	ほか、全体通して何かありますか。
1:30:49	よろしいですかね。はい。中国電力から何かありますか。
1:30:55	はい。中国電力の鹿島です。こちらから特にございません。はい、わかりました。それでは後半の土建の部分についてのヒアリング
1:31:06	ですけど、確認終わりましたので、それでは本日のヒアリングの方を終了いたします。ありがとうございました。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。